

2024年度

# 京都看護大学大学院 看護学研究科修士課程

2024年4月 看護学研究科博士課程 設置認可申請中\*

- 看護の智探究領域
- 地域生活支援探究領域
- 保健師コース（地域生活支援探究領域）

第106回～109回 保健師国家試験100% 合格

## 募集要項



学校法人 京都育英館

京都看護大学大学院

# 京都看護大学大学院 看護学研究科修士課程

## 教育理念

本学の建学の精神は「明德・格物致知の実践」である。これは、「看護に係る道理や本質を深く追求し、その知識や学問を深め、看護専門職者として自らの役割を知得し、他者にいつくしみを持った看護をささげること」とし、地域にとどまらず広く世界に貢献できる人材の育成としている。

教育理念はこの建学の精神である「明德・格物致知の実践」を教育に貫通するものとして、外界・他者に向けた関心、気遣い、思いやりといった心象の発現を「いつくしみ」という言葉で表し、「智・人・命」をいつくしむ能力を鍛えることとしている。



### [教育理念]

- 「智をいつくしむ」
  - ・臨床の知から看護の智を紡ぐ
  - ・研究的社会貢献
- 「人をいつくしむ」
  - ・人間性豊かな看護専門職の育成
  - ・いつくしみ合う人々の交流促進
- 「命をいつくしむ」
  - ・倫理性の高い大学運営
  - ・社会との協働と貢献

研究科においては、上記の教育理念である「智・人・命」をいつくしむ能力を礎に、看護の実践を科学的に探究・検証し、看護学のさらなる発展に寄与する人材育成に貢献する。

## 教育目的・教育目標

研究科においては、前述した教育理念をさらに深化するために、以下のような教育目的・目標を設定する。

### [教育目的]

今後ますます進展する少子・超高齢・多死社会において、社会や人々の看護ニーズに对应していくため、幅広く深い学識と臨床実践現場にある臨床の知をさらに探究する研究能力、高度専門職者として卓越した実践力を涵養する教育を行い、保健医療福祉などに携わる専門職との協働においてリーダーシップおよびメンバーシップを発揮するとともに、看護学の学術研究を通じてより高度な実践力を備えて課題解決を推進する看護職者、教育者、研究者の人材養成を通して、看護の専門性の一層の向上を図り社会に貢献する。

### [教育目標]

- 「智をいつくしむ」：深く広範な知識、論理的思考力及び科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を生み出すために、看護の知を表現し、智に変える能力の育成
- 「人をいつくしむ」：人々の多様な価値観を理解し、他者を尊重したケアリングコミュニケーションを通して、リーダーシップ・メンバーシップ能力を発揮する能力の育成
- 「命をいつくしむ」：高い倫理観を有し、患者・家族及び地域の人々をアドボケートして、健康な時期から疾患罹患、そして終末期まで、地域での暮らしや看取りを見通した高度な看護実践力の育成

## 目次

## 研究科案内

教育理念	1
教育目的・教育目標	1
京都看護大学大学院 専攻領域	3
アドミッション・ポリシー	3
ディプロマ・ポリシー	4
修了後に期待される役割	4
研究科の特色	5
学習環境	6
教育課程編成	7
カリキュラム・ポリシー	7
共通科目 教育課程	8
看護の智探究領域 教育課程	8
地域生活支援探究領域・保健師コース 教育課程	9
担当教員	10
看護の智探究領域 履修モデル	12
地域生活支援探究領域 履修モデル	13
地域生活支援探究領域 保健師コース 履修モデル	14

## 学生募集要項

1. 受験から入学までのフローチャート	15
2. 募集領域・人員	16
3. 出願資格	16
4. 個別出願資格	16
5. 入学試験日程	17
6. 提出書類	18
7. 出願時の注意事項	19
8. 合格者の発表・入学手続き	19
9. 学納金	19
10. 初年度納入金の納入期日	19
11. 奨学金について	20
12. 受験上の注意	20
13. 大学院進学ガイダンス・個別ガイダンス	21
14. 科目等履修生・研究生について	21

## 京都看護大学大学院 専攻領域

研究科では、基礎、専門基礎、基礎看護、急性期・周術期看護論、慢性期・終末期看護論、生活行動回復看護論に対応する「看護の智探究領域」、地域在宅支援論、老年看護学、母性看護学、小児看護学、精神看護学に対応する「地域生活支援探究領域」の2領域と保健師コースの研究領域を設置する。

領域	定員数	内容	修了後の学位及び取得資格	入学者想定例
看護の智探究領域	2名	あらゆる健康状態、とりわけ急性期から回復期においても、患者・家族を生活者として捉え、その人の持てる力を引き出し、地域での暮らしにつなげるために、看護実践者がもつ臨床体験を科学的根拠や理論を活用して洞察し、暗黙知から形式知を生み出す「智・人・命」を探究する。	・修士（看護学）	・京都看護大学 他大学看護学科卒業見込み者、卒業生 ・現職の看護師、保健師、助産師
地域生活支援探究領域	5名 (保健師コース含)  第106回～109回 保健師国家試験 100%合格	すべての人々が、健康障害の有無にかかわらず、その人が望む生活を維持向上できるように、病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族および地域の人々を生活者の視点でとらえ、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するため「智・人・命」を探究する。	・修士（看護学）	・京都看護大学 他大学看護学科卒業見込み者、卒業生 ・現職の看護師、保健師、助産師
		<b>保健師コース</b> ：個人、家族、集団、地域における複雑化・潜在化している健康問題を解決し、住民の健康の保持増進を実現していく実践力と保健行政への参画力を有して、地域包括ケアシステムの構築を推進し、さらに政策の提言とその実践ができる能力をもつ保健師を育成する。	・修士（看護学） ・保健師国家試験受験資格  *所定の教育課程を履修し、必要な単位を取得し、修了要件を充足した場合	・京都看護大学 他大学看護学科卒業見込み者、卒業生 ・現職の看護師

## アドミッション・ポリシー

### 【基本方針】

研究科では、学校教育施行規則第155条第1項第8号の規定に基づいて、4年制大学の卒業生のみならず、短期大学及び専修学校の卒業生で一定の条件を満たす者には、個別の入学審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合には、出願資格を与え、学習意欲を持つ人々に修学の門戸を広げている。本研究科の教育目的、教育目標を達成するために、以下をアドミッション・ポリシーとし、それに沿った学生を求める。

- 1 人への温かな関心と看護実践への情熱を持ち、看護学発展の一翼を担う自覚を持つ人
- 2 自己の経験を内省し、主体的、自立的に学問的探究に努力できる人
- 3 様々な現象を科学的根拠及び知識や理論を活用し論理的に考えることができる人
- 4 住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するために地域包括ケアシステム構築の中心的役割を担う看護職として社会貢献に意欲のある人
- 5 地域住民の健康に関心を持ち、個人、家族、集団、地域における複雑化・潜在化した健康問題の明確化とその解決に向けた実践を通して、将来保健師として社会貢献する意欲のある人(保健師コース)

## ディプロマ・ポリシー

研究科において所定の単位を修得して、以下の学位授与の方針に合う能力を備えるに至った者に学位を授与する。

- 1 智をいつくしむ力、すなわち、深く広範な知識、論理的思考力及び科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を生み出すために、看護の知を表現し、智に変えることができる。
- 2 人をいつくしむ力、すなわち、人々の多様な価値観を理解し、他者を尊重したケアリングコミュニケーションを通して、リーダーシップ・メンバーシップ能力を発揮することができる。
- 3 命をいつくしむ力、すなわち、高い倫理観を有し、患者・家族及び地域の人々をアドボケイトして、健康な時期から疾患罹患、そして終末期まで、地域での暮らしや看取りを見通した高度な看護実践ができる。
- 4 臨地体験を科学的根拠や理論を活用して洞察し、暗黙知から形式知を生みだすことができる。
- 5 病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族及び地域の人々を生活者の視点でとらえ、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するための研究と高度な実践に結びつけることができる。
- 6 地域包括ケアシステム構築・推進の要となり、さらに、保健行政において健康政策提言およびその政策化ができる。

## 修了後に期待される役割

研究科の養成する人材像は智・人・命をいつくしみ、地域包括ケアシステムを推進する看護実践者・教育者・研究者である。

研究科修了後の進路としては、保健医療の現場において地域包括ケアシステムを推進する看護実践者及び保健師、大学などにおける教育研究者としての活躍が期待される。

- (1) 高度な専門知識と実践能力を有する看護師・保健師
- (2) 地域包括ケアシステムを推進する看護師
- (3) 地域包括ケアシステムの要となる保健師
- (4) 優れた人材育成能力と研究能力を有す看護教育研究者

## 研究科の特色

### (1) 教育理念「いつくしみ——智・人・命」 学部教育と接続した体系的な学問構築

看護の対象はあらゆる健康障害、健康の段階、発達段階の人や人々及び地域であり、看護師はいつでも、どこでも対象のニーズに合わせた看護を継続して実践するプロフェッションである。幅広い教養、専門的な知識に基づいた適切な実践が求められることは言うまでもないが、対象である人間への関心・気遣い・思いやり・敬愛といった心象を礎にした看護が一層重要である。つまり、本学の教育理念である「智をいつくしむ力」、「人をいつくしむ力」、「命をいつくしむ力」の育成を学部教育と接続し体系的な学問構築を志向し、課題に対する柔軟な思考能力と深い洞察に基づく主体的な行動を兼ね備えるための高度な素養を涵養する教育を目指す。

### (2) 地域包括ケアシステム構築に向けて、 看護の専門性をより発揮できる看護職の人材の育成

少子・超高齢・多死社会が到来し、地域包括ケアシステムの構築及び効率的かつ質の高い医療体制の構築は喫緊の課題である。元来、看護は看護対象を生活者として捉え、その人の持てる力を引き出し急性期から回復期、慢性期などあらゆる健康の段階にある人を病院、外来、施設、地域において療養生活を支えることを業としてきた。しかし、近年の医療・介護一体化改革に伴って、地域完結型医療が進展しつつあり、「時々入院、ほぼ在宅へ」シフトしている。このような環境を受け、長く病院中心の看護の担ってきた役割の再構築、多職種協働の要、地域での看看連携が求められている。切れ目のない看護を適用する要は、管理者や一部の専門看護師だけではなく、**ジェネラリストの看護師**であると考える。

研究科では**ジェネラリストの看護師**が地域包括ケアシステムを推進していく原動力としての高度な専門知識を得て、これまでの経験を科学的根拠や理論に適用し探究することにより、現象から表象へと形式知を高めて、臨床現場においてチームを牽引する人材育成を目指す。理論的知識などを体系的に身に付け、課題に対する柔軟な思考能力と深い洞察に基づく主体的な行動力を兼ね備えるための高度な素養を涵養する教育を行う。

### (3) 地域生活支援の要となる保健師コースの設置

地域包括ケアシステムの進展に伴い、保健・医療・福祉関係専門職の一体的なチームとしての活動が一層求められている。このような現代社会の期待に応えるために、個人、家族、集団、地域における複雑化・潜在化している健康問題を解決し、住民の健康の保持増進を実現していく実践力と保健行政への参画力を有して、地域包括ケアシステムの構築を推進し、さらに**政策の提言とその政策化を実践できる能力を持つ保健師**の育成を行う、保健師養成コースも設置した。



## 学習環境

### 1 社会人・遠隔地の学生のための履修支援<sup>※1</sup>

現職看護職者の修学を支援するために、18時からの夜間開講を実施。また、遠隔地の学生には、リアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>による講義への参加も可能。1年次の各領域の総論と演習は土曜日の午後開講として、遠隔地の学生も受講しやすい時間割を配置。さらに2年次の特別研究は、夜間開講とし、遠隔地の学生はリアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>を通してのディスカッション、研究指導を受けることもできる。

### 3 「リアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>」活用による継続学修

感染予防と効果的な学修の両立をする為、従来より導入していた「リアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>」の活用をさらに拡大しました。

今後も感染拡大状況を鑑みながら、「完全オンライン講義」・「オンラインと対面のハイブリット講義」を使い分け、大学院生が継続して学修できる環境を提供していきます。

### 5 履修支援体制

入学時に履修ガイダンスを行い、2年間の教育課程、科目概要、履修単位数、研究方法、論文作成、評価基準、単位認定、修了要件の概要を説明し、個々の学生の理解とイメージ化を図ります。自己の研究課題に必要な共通科目、各領域の専門科目の編成と科目選択の仕方、履修登録方法などについて説明し、自己の学修設計と主体的な学習へつなげていく。

### 2 多彩な学習機器による、学習機会の整備

研究科では、マルチメディアを活用した、リアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>の構築により自宅や職場から合同授業、個別相談や電子図書の利用などを活用しながら学ぶことができる学習機会を整備している。

### 4 修学支援体制

個々の学生の研究指導を担当する教員が中心になり、さらに学生が所属する研究領域の教員も多重に関わる手厚い修学支援を実施。働きながら修学する学生<sup>※1</sup>など入学時から修了まで個別の状況に即した支援を実施。また、教員のオフィスアワー、メール、リアルタイム型遠隔講義システム<sup>※2</sup>を利用し、きめ細やかな修学相談にも対応している。

※1 保健師コースは除く。社会人・遠隔地の学生であっても通学が必要。

※2 リアルタイム型遠隔講義システムは、学生のネット環境のもとで、自分のパソコンやタブレットで本研究科が設置するクラウド上の教室で学修するシステム。リアルタイムに講義、双方向のディスカッションや質疑応答がスムーズにでき、教室に居合わせている臨場感で学ぶことができる学習システム。

## 教育課程編成

研究科の教育編成は、教育課程を共通科目と専門科目に分けて編成し、専門科目には総論、特論、演習を設けている。また、修士論文を作成するために特別研究を設定した。高度専門職業人の養成であること、地域包括ケアシステムの進展により、今後ますます必要となる看護職者の高度な知識と実践力さらに、現職の看護職者である社会人のリカレント教育として多様なニーズに応える科目編成となっている。また、いずれの科目も学生が、自己の看護実践を振り返りながら理論と統合させて、帰納的・演繹的に学べるように編成している。

## カリキュラム・ポリシー

研究科のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーを達成するため以下のような視点を重視して構成する。

- 1 智をいつくしむ力、すなわち、深く広範な知識、論理的思考力及び科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を生み出すために、看護の知を表現し、智に変えることができる力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- 2 人をいつくしむ力、すなわち、人々の多様な価値観を理解し、他者を尊重したケアリングコミュニケーションを通して、リーダーシップ・メンバーシップ能力を発揮する力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- 3 命をいつくしむ力、すなわち、高い倫理観を有し、患者・家族及び地域の人々をアドボケートして、健康な時期から疾患罹患、そして終末期まで、地域での暮らしや看取りを見通した高度な看護実践ができる力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- 4 看護実践者もつ臨床経験を科学的根拠や理論を活用して洞察し暗黙知から形式知を生み出すことで、智・人・命を探究する能力を特に養成する科目として、看護の智探究領域に「総論」、「特論」、「演習」、「特別研究」を配置する。
- 5 病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族および地域の人々を生活者の視点で捉え、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するために、智・人・命を探究する能力を特に養成する科目として、地域生活支援探究領域に「総論」、「特論」、「演習」、「特別研究」を配置する。
- 6 地域包括ケアシステム構築・推進の要となり、さらに、保健行政において健康政策提言およびその政策化ができる保健師を養成するために、保健師コースに、保健師国家試験受験資格を獲得するのに必要な単位の他に、実践力を強化する狙いで「実習」の単位を増置する。



## 共通科目 教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
研究	特別研究	2 通	8	
	小計（1科目）	—	8	
共通科目	看護研究特論	1 前	2	
	看護研究方法	1 前	2	
	看護倫理特論	1 前	2	
	看護理論	1 前		2
	看護管理論	1 後		2
	看護政策論	1 後		2
	地域包括ケアシステム論	1 前	2	
	医療コミュニケーション特論	1 後		2
	国際・災害看護特論	1 後		2
	小計（9科目）	—	8	10

※カリキュラムは教育的配慮のもと、変更となる場合がございます。

## 看護の智探究領域 教育課程

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数	
			必修	選択
専門科目	看護の智探究領域	看護の智探究総論	1 前	2
		看護マネジメント特論	1 後	2
		看護教育学特論	1 前	2
		クリティカルケア特論	1 前	2
		エンドオブライフケア特論	1 前	2
		臨床ナラティブ特論	1 後	2
		看護リフレクション特論	1 前	2
		がん患者・家族看護特論	1 後	2
		成熟期看護特論	1 後	2
		看護の智探究課題演習	1 後	2
		小計（10科目）	—	20

※カリキュラムは教育的配慮のもと、変更となる場合がございます。

### 卒業要件及び履修方法

看護の智探究領域は、共通科目必修8単位・選択科目6単位以上の計14単位以上、専門科目は「看護の智探究総論」2単位と「看護の智探究課題探究演習」2単位・特論4単位を含め8単位以上、特別研究8単位、計30単位以上を修得し、且つ修士論文を提出して、審査及び最終試験に合格すること。

## 地域生活支援探究領域・保健師コース 教育課程

第106回～109回  
保健師国家試験  
100%合格

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数
				選択
専門科目	地域生活支援探究領域	地域生活支援探究総論	1 前	2
		精神地域生活支援特論	1 前	2
		母子地域生活支援特論	1 前	2
		高齢者地域生活支援特論	1 後	2
		在宅看護特論	1 後	2
		公衆衛生看護実践特論	1 後	2
		地域生活支援探究課題演習	1 後	2
		小計（7科目）	—	14
	保健師コース	公衆衛生看護学特論	1 前	2
		健康教育・地区組織育成特論	1 後	2
		公衆衛生看護管理論	1 前	2
		学校保健論・産業保健論	1 後	2
		公衆衛生看護活動特論Ⅰ	1 前	2
		公衆衛生看護活動特論Ⅱ	1 前	2
		公衆衛生看護活動演習Ⅰ	1 前	2
		公衆衛生看護活動演習Ⅱ	1 前	2
		保健統計学	1 後	2
		疫学	1 後	2
		保健医療福祉行政システム論	1 前	2
		保健医療福祉行政システム論演習	1 後	2
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	1 通	1
		公衆衛生看護学実習Ⅱ -a	1 前	4
		公衆衛生看護学実習Ⅱ -b	2 前	2
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	2 前	3
		小計（16科目）	—	34

※カリキュラムは教育的配慮のもと変更となる場合がございます

### 卒業要件及び履修方法

地域生活支援探究領域は、共通科目必修8単位・選択科目6単位以上の計14単位以上、専門科目は「地域生活支援探究総論」2単位と「地域生活支援探究課題演習」2単位・特論4単位を含め8単位以上、特別研究8単位、計30単位以上を修得し、且つ修士論文を提出して、審査及び最終試験に合格すること。

また、保健師コースは30単位に加え、保健師国家試験受験資格を得るために、看護師免許証書の交付を受けた者で、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める所定の31単位を含む保健師コースの全ての科目を修得しなければならない。

## 担当教員

### 看護の智探究領域

[探究内容] あらゆる健康状態、とりわけ急性期から回復期においても、患者・家族を生活者として捉え、その人の持てる力を引き出し、地域での暮らしにつなげるために、看護実践者がもつ臨床体験を科学的根拠や理論を活用して洞察し、暗黙知から形式知を生み出す「智・人・命」を探究する。

	担当教員／メールアドレス	研究の内容
看護の智探究領域 特別研究内容	教授（学長） 菅田 勝也 k_kanda@kyotokango.ac.jp	マネジメントやサービスの理論に基づき、看護サービスの経済分析、質の評価・改善、効果的・効率的な看護提供システム、看護師のキャリア発達、人材資源管理、安全管理など、看護管理に関わるテーマの研究を、指導教員とのディスカッションを通して研究上の問題を解決しながら遂行させ、修士論文の作成と公表を指導する。
	教授 田口 豊恵 t_taguchi@kyotokango.ac.jp	手術や救急医療・集中治療を受ける患者とその家族、このような人々をケアする看護師を対象に PICCS 予防の看護、補完代替療法の介入、ケアリング等を研究テーマとし、ケアとキュアが融合する臨床実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、主に介入比較研究や質的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授 吉田 えり e_yoshida@kyotokango.ac.jp	地域で暮らす医療保健従事者や観光業従事者等の職域集団、AYA 世代等における健康維持・増進に係る支援をテーマとする。臨床実践から研究課題を明確にし、主に量的研究や介入比較研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授 宇野 真由美 m_uno@kyotokango.ac.jp	看護サービス、看護管理の視点から看護師のキャリア発達を見据えた教育介入方法の検討やゲーム理論を用いた学際的な研究手法の探究など、論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	教授（特任） 平 英美 h_taira@kyotokango.ac.jp	看護師－患者コミュニケーションをテーマとした修士論文をまとめるための助言と指導を行う。まず、看護コミュニケーションに関する先行研究を系統的に収集・整理・検討するための指導を行う。次に、コミュニケーション研究テーマに設定した場合にはどのように研究計画を立案し、計画書を作成すればよいかについての指導を行う。とくに、臨床現場をフィールドとした調査研究を実施する院生には、フィールドへの参与の仕方や面接法、機器の設置法、データ処理の方法、さらに研究倫理申請など研究の手順について助言する。論文執筆では、コミュニケーション研究の特徴であるデータをどのように生かせばよいかといった点などの指導を進める。
	教授（特任） 中川 晶 a_nakagawa@kyotokango.ac.jp	慢性疾患患者に対するナラティブ・アプローチの実践をテーマとして、質的研究法による論文作成および成果の発表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 田村 葉子 y_tamura@kyotokango.ac.jp	クリティカルケア看護の発展に寄与する研究テーマとし、特にクリティカルケア領域に携わる看護師に必要な知識習得のための教育プログラムの開発に関するテーマで、臨床実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、研究方法を吟味し、量的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 鯉坂 由紀 y_ajisaka@kyotokango.ac.jp	看護学生の看護実践における思考過程、患者－看護学生関係の構築、看護学生および看護教員のリフレクション、看護教員の教材化に関するテーマで、教育実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、質的研究方法による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
准教授 中森 美季 m_nakamori@kyotokango.ac.jp	がんとともに生きる人やその家族に対する看護をテーマとし、臨床実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、質的研究方法による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。	

#### 【出願前の教員相談について】

出願前に指導を希望する教員と E-mail 等で連絡を取り、研究計画が実行可能であるか事前にご相談ください。

(教員と連絡を取る際 cc に、nyushi@kyotokango.ac.jp も宛先に入れて送信してください。)

なお、ご不明点などがございましたら、電話もしくはメールにて入試課宛にご連絡ください。

TEL：075-311-0123 メール：nyushi@kyotokango.ac.jp

## 担当教員

### 地域生活支援探究領域

[探究内容] すべての人々が、健康障害の有無にかかわらず、その人が望む生活を維持向上できるように、病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族および地域の人々を生活者の視点でとらえ、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するため「智・人・命」を探究する。

	担当教員／メールアドレス	研究の内容
地域生活支援探究領域 特別研究内容	教授 井上 深幸 m_inoue@kyotokango.ac.jp	高齢者の地域生活支援に関する研究テーマで、高齢者の住みなれた地域でのより豊かな生活を支援できる効果的な援助方法、ケア資源、ケア体制の構築にむけた調査研究、アクションリサーチ、介入研究の手法による論文作成及び成果の公表にいたる一連の研究指導を行う。
	教授（特任） 津波古 澄子 s_tsuhako@kyotokango.ac.jp	看護のケアの質の向上に向けた看護教育をめざし、学生の主体的な考える力の育成のために教育方法を考究する。また、ケアの質向上のための看護実践についてロイ看護適応モデルを活用した研究を探究し、院生の関心に合わせた修士論文作成のプロセスおよび研究成果の公表に向けて指導する。
	教授（特任） 磯邊 厚子 a_isobe@kyotokango.ac.jp	長寿社会の迫る中、高齢者の望む生活や自立を支える支援とはどのようなことか、何をパラダイム転換しなければならないか、高齢者の QOL や活力を生み出す支援に関して研究指導を行う。 また、昨今の混沌とした世界で、国際看護に関する課題をケイパビリティ（潜在能力）アプローチの観点から明らかにすると共に、海外学術調査の方法～成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 三林 聖司 s_mitsubayashi@kyotokango.ac.jp	精神障害者が置かれてきた社会的状況を、歴史的文献及び行政統計資料をもとに検証するとともに、今日の様々な社会資源へのフィールドワークによる当事者及び支援者との関わりを通して、精神障害者が地域・在宅で生活する上での課題を抽出する。さらに、薬物療法等の精神科医療が個々の日常生活にもたらす影響についても検証し、精神障害者への地域・在宅生活支援の方策及び看護職の果たすべき役割を明らかにするための研究指導を行う。
	准教授 前原 なおみ n_maehara@kyotokango.ac.jp	高齢者とその家族への看護実践をテーマとし、質的研究法による論文作成および成果の発表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 川嶋 元子 m_kawashima@kyotokango.ac.jp	病棟の退院支援や外来での在宅療養支援をテーマに、疾病や障害があっても、住み慣れた地域で過ごし続けられるように、地域包括システムの中での看護師の援助方法や地域の支援システムに関する研究課題の明確化を行う。また、研究方法を吟味し、量的または質的研究による一連の研究指導を行う。

### 地域生活支援探究領域 保健師コース

[探究内容] 個人、家族、集団、地域における複雑化・潜在化している健康問題を解決し、住民の健康の保持増進を実現していく実践力と保健行政への参画力を有して、地域包括ケアシステムの構築を推進し、さらに政策の提言とその実践ができる能力をもつ保健師を育成する。

	担当教員／メールアドレス	研究の内容
地域生活支援探究領域 保健師コース 特別研究内容	教授 滝澤 寛子 h_takizawa@kyotokango.ac.jp	公衆衛生看護の発展に寄与する研究テーマとし、特に地域社会の健康レベルの向上に向け、住民による主体的な健康づくり活動や、地域づくりを目指す住民組織活動に関するテーマで、臨地実践や体験の中から発生した研究課題の明確化および研究方法を吟味し、量的または質的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 石井 敦子 a_ishii@kyotokango.ac.jp	公衆衛生看護の発展に寄与する研究テーマとし、特に母子や高齢者、精神、難病などあらゆる対象の人々がその人らしく生きていくことができる社会の創造や変革を目指した政策形成をテーマに、臨地実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、研究方法を吟味し、量的または質的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。
	准教授 河田 志帆 s_kawata@kyotokango.ac.jp	公衆衛生看護の発展に寄与する研究テーマとし、あらゆる発達段階および健康レベルにある人々とその家族の健康生活を支援するための援助方法の開発やケア体制の構築に関連するテーマで、臨地実践の中から発生した研究課題の明確化を経て、研究方法を吟味し、量的または質的研究による論文作成および成果の公表に至る一連の研究指導を行う。

#### 【出願前の教員相談について】

出願前に指導を希望する教員と E-mail 等で連絡を取り、研究計画が実行可能であるか事前にご相談ください。

(教員と連絡を取る際 cc に、nyushi@kyotokango.ac.jp も宛先に入れて送信してください。)

なお、ご不明点などがございましたら、電話もしくはメールにて入試課宛にご連絡ください。

TEL : 075-311-0123 メール : nyushi@kyotokango.ac.jp

## 看護の智探究領域 履修モデル

本履修モデルは、看護師として臨床経験のある入学生が、**ジェネラリスト**として高い実践力を身につけるためのモデルである。

臨床経験のある社会人入学生が、自身の行なっている看護を学術的に意味づけし、表現することにより、**ジェネラリスト**として臨床の質を高める人材として社会に寄与することを目指す。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	1年次		2年次		合計 単位数
			前期	後期	前期	後期	
研究	特別研究	2通			○	○	8
	小計（1科目）	—	—		—		8
共通科目	看護研究特論	1前	○				2
	看護研究方法	1前	○				2
	看護倫理特論	1前	○				2
	看護理論	1前	●				2
	看護管理論	1後		●			2
	看護政策論	1後					
	地域包括ケアシステム論	1前	○				2
	医療コミュニケーション特論	1後		●			2
	国際・災害看護特論	1後		●			2
	小計（9科目）	—	—		—		16
専門科目	看護の智探究総論	1前	◎				2
	看護マネジメント特論	1後		●			2
	看護教育学特論	1前					
	クリティカルケア特論	1前					
	エンドオブライフケア特論	1前					
	臨床ナラティブ特論	1後		●			2
	看護リフレクション特論	1前					
	がん患者・家族看護特論	1後					
	成熟期看護特論	1後					
	看護の智探究課題演習	1後		◎			2
	小計（10科目）	—	—		—		8
地域生活支援探究領域	地域生活支援探究総論	1前					
	精神地域生活支援特論	1前					
	母子地域生活支援特論	1前					
	高齢者地域生活支援特論	1後					
	在宅看護特論	1後					
	公衆衛生看護実践特論	1後					
	地域生活支援探究課題演習	1後					
	小計（7科目）	—	—		—		
合計（27科目）		—	—		—		32

○：必修 ◎：選択必修 ●：選択



## 地域生活支援探究領域 履修モデル

本履修モデルは、看護職として臨床経験のある入学生が、地域包括ケアシステムの中で看護の専門性を発揮する力を身につけるためのモデルである。

臨床経験のある社会人入学生が、全ての人々が住み慣れた地域において QOL の高い生活を送るために、病院と地域の連携について学術的方法で探究し、地域包括ケアシステムを推進する人材として社会に寄与することを旨とする。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	1年次		2年次		合計 単位数	
			前期	後期	前期	後期		
研究	特別研究	2通			○	○	8	
	小計(1科目)	—	—		—		8	
共通科目	看護研究特論	1前	○				2	
	看護研究方法	1前	○				2	
	看護倫理特論	1前	○				2	
	看護理論	1前	●				2	
	看護管理論	1後						
	看護政策論	1後		●			2	
	地域包括ケアシステム論	1前	○				2	
	医療コミュニケーション特論	1後		●			2	
	国際・災害看護特論	1後		●			2	
	小計(9科目)	—	—		—		16	
専門科目	看護の智探究領域	看護の智探究総論	1前					
		看護マネジメント特論	1後					
		看護教育学特論	1前					
		クリティカルケア特論	1前					
		エンドオブライフケア特論	1前					
		臨床ナラティブ特論	1後					
		看護リフレクション特論	1前					
		がん患者・家族看護特論	1後					
		成熟期看護特論	1後					
		看護の智探究課題演習	1後					
	小計(10科目)	—	—		—			
	地域生活支援探究領域	地域生活支援探究総論	1前	◎				2
		精神地域生活支援特論	1前	●				2
		母子地域生活支援特論	1前					
		高齢者地域生活支援特論	1後		●			2
		在宅看護特論	1後					
		公衆衛生看護実践特論	1後					
地域生活支援探究課題演習		1後		◎			2	
小計(7科目)	—	—		—		8		
合計(27科目)		—	—		—		32	

○：必修 ◎：選択必修 ●：選択



## 地域生活支援探究領域 保健師コース 履修モデル

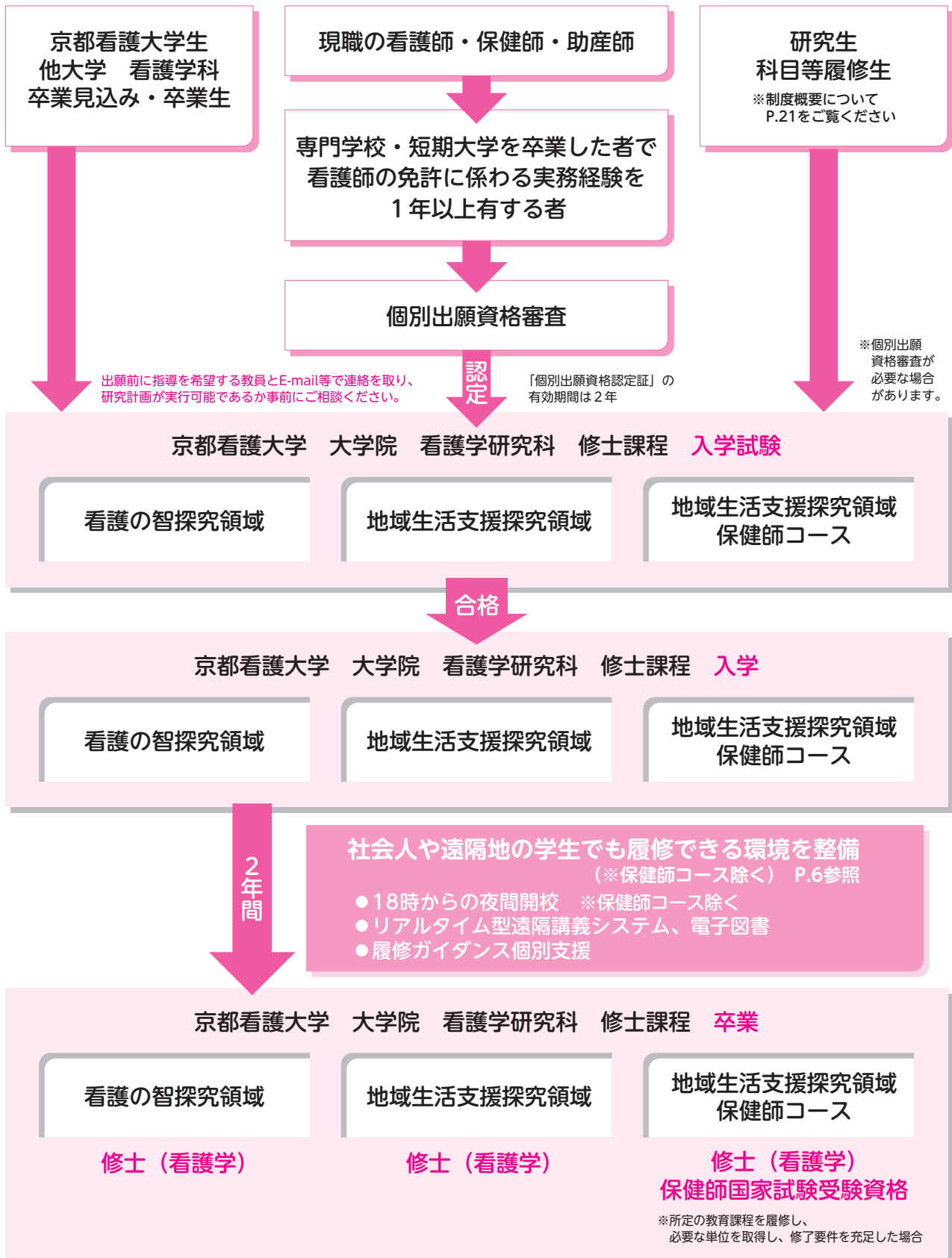
本履修モデルは、看護基礎教育を終えた入学生が、将来**保健師**として社会で活躍するためのモデルである。個人、家族、集団、地域において複雑化潜在化する健康問題を解決するために高度な知識・思考・実践力を身につけ、地域包括ケアシステムの構築及び推進の実践力を兼ね備えた質の高い行政保健師として社会に寄与することを目指す。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	1年次		2年次		合計 単位数	
			前期	後期	前期	後期		
研究	特別研究	2通			○	○	8	
	小計（1科目）	—	—		—		8	
共通科目	看護研究特論	1前	○				2	
	看護研究方法	1前	○				2	
	看護倫理特論	1前	○				2	
	看護理論	1前						
	看護管理論	1後		●			2	
	看護政策論	1後		●			2	
	地域包括ケアシステム論	1前	○				2	
	医療コミュニケーション特論	1後		●			2	
	国際・災害看護特論	1後		●			2	
	小計（9科目）	—	—		—		16	
看護の智探究領域	看護の智探究総論	1前						
	看護マネジメント特論	1後						
	看護教育学特論	1前						
	クリティカルケア特論	1前						
	エンドオブライフケア特論	1前						
	臨床ナラティブ特論	1後						
	看護リフレクション特論	1前						
	がん患者・家族看護特論	1後						
	成熟期看護特論	1後						
	看護の智探究課題演習	1後						
	小計（10科目）	—	—		—			
	専門科目	地域生活支援探究総論	1前	◎				2
		精神地域生活支援特論	1前					
母子地域生活支援特論		1前						
高齢者地域生活支援特論		1後		●			2	
在宅看護特論		1後						
公衆衛生看護実践特論		1後		◎			2	
地域生活支援探究課題演習		1後		◎			2	
小計（7科目）		—	—		—		8	
地域生活支援探究領域 保健師コース	公衆衛生看護学特論	1前	◎				2	
	健康教育・地区組織育成特論	1後		◎			2	
	公衆衛生看護管理論	1前	◎				2	
	学校保健論・産業保健論	1後		◎			2	
	公衆衛生看護活動特論Ⅰ	1前	◎				2	
	公衆衛生看護活動特論Ⅱ	1前	◎				2	
	公衆衛生看護演習27	1前	◎				2	
	公衆衛生看護活動演習Ⅱ	1前	◎				2	
	保健統計学	1後		◎			2	
	疫学	1後		◎			2	
	保健医療福祉行政システム論	1前	◎				2	
	保健医療福祉行政システム論演習	1後		◎			2	
	公衆衛生看護学実習Ⅰ	1通	◎	◎			1	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ-a	1前	◎				4	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ-b	2前			◎		2	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ	2前			◎		3	
小計（16科目）	—	—		—		34		
合計（43科目）		—	—		—		62	

○：必修 ◎：選択必修 ●：選択

# 学生募集要項

## 1. 受験から入学までのフローチャート



## 2. 募集領域・人員

募集領域	募集人員		取得できる学位・資格	修業年限
看護の智探究領域	2名		修士（看護学）	2年
地域生活支援探究領域 ・保健師コース	2名		修士（看護学）	2年
	3名		修士（看護学） 保健師国家試験受験資格*	2年

※所定の教育課程を履修し、必要な単位を取得し、修了要件を充足した場合

\*各領域・コースの募集人員には推薦入試を含む

## 3. 出願資格

看護師の資格を取得（見込み含む）し、次のいずれかの条件に該当する者

- ①学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2024年3月卒業見込みの者
- ②本学の大学院における個別出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（※個別出願資格審査）で、看護師の免許に係わる実務経験を1年以上有する者

※①の受験者で卒業見込みの者が卒業できなかった場合や看護師の資格取得見込みの者が取得できなかった場合は、合格を取り消すことがあります。

## 4. 個別出願資格

出願資格②で出願しようとする者は、出願前に個別出願資格審査を行いますので、規定の書類を期日までに提出してください。

書類など	備考
個別出願資格審査願*1	〈本学指定〉ホームページの大学院の入試ページよりダウンロードして使用すること。
履歴書	〈書式自由〉学歴および職歴について必ず記載されていること。
個別出願資格審査可否送付用封筒 (長3封筒)	各自で長3封筒を用意し、郵便番号、住所、氏名等を記入の上、簡易書留料を含む404円（第2期一般入試は434円）*2 切手を貼付してください。
最終出身看護学校の成績証明書・卒業証明書	出身学校の学長・学校長が発行したものを提出してください。 注）出身学校長が3ヶ月以内に作成し厳封したもの。
研究歴・研究成果報告書	〈書式自由〉A4サイズ これまでに論文などを執筆している場合は、コピーを必ず添付すること。
看護師免許証のコピー	

※1 本学所定の様式 ※2 2023年10月1日(日)より郵便物の特殊取扱料改訂によるもの。

○提出方法 提出書類をそろえ、本学まで郵送または持参してください（締切日18時必着）。

個別出願資格審査書類は、本人が用意した市販の角2封筒に入れ、封筒の表面に

「**大学院個別出願資格審査書類在中**」と朱書きしてください。郵送の場合は、簡易書留郵便でお送りください。

### 【提出期間及び資格審査発表日】

	第1回	第2回
資格審査受付期間（必着）	2023年6月12日(月)～6月23日(金)	2023年12月11日(月)～2024年1月9日(火)
資格審査発表日	2023年6月30日(金)	2024年1月12日(金)

提出先 〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-21 京都看護大学大学院 入試課

審査発表 上記日に審査結果を全員に発送します。入学資格が認められた者については「個別出願資格認定証」を交付します。ただし有効期間は2年とします。また、この大学院個別出願資格審査は、本学の判断により導入し実施しているため、認定の効力は、本学大学院の研究科にのみ及ぶものとします。電話でのお問い合わせにはお答えできません。

## 5. 入学試験日程

### 【出願期間・試験日程】

	第1期 一般入試	第2期 一般入試
出願期間	2023年7月10日(月)～7月28日(金)	2024年1月15日(月)～1月29日(月)
試験日	2023年8月6日(日)	2024年2月4日(日)

第1期一般入試で各領域・コースが定員充足した場合、第2期一般入試は、実施しません。  
(ただし、辞退者などが出た場合は、その限りではございません)

### 【選抜方法】

#### (1) 試験科目・時間割

時間	試験科目	備考
9:00～10:30(90分)	総合問題	論理的思考力と表現力を総合的に評価できる問題を出題します。
11:00～12:30(90分)	専門問題 ( ・看護の智探究領域 ・地域生活支援探究領域 ・保健師コース	願書に記入した志望領域(コース)の専門問題を出題します。 ※保健師コースは、一部英文和訳を含みます。 英語辞書(1冊)の持込み(但し、電子辞書除く)を認めます。
13:30～	面接	個人面接を行います。(1人あたり約15分)

#### (2) 試験の配点

試験科目	総合問題	専門問題	面接	合計
配点	100点	100点	50点	250点

#### (3) 試験場の注意点

##### ◆試験会場への入室

- ①試験当日は8時30分より試験会場に入ることができます。
- ②遅刻した場合は試験開始後20分までは受験を認めます。開始後20分を超えた場合、受験はできません。
- ③受付で受験票の確認を受け、試験会場に集合してください。試験会場は当日お知らせします。
- ④試験会場では受験番号の貼られたところに着席してください。
- ⑤試験会場へは公共交通機関をご利用ください。

##### ◆持ち物について

- ①当日は受験票を持参してください。  
受験票を紛失したり忘れたりした場合は、事務室、あるいは係員に申し出て指示を受けてください。
- ②試験中に机の上に置けるものは受験票のほか、筆記用具(黒鉛筆(HBまたはB)・シャープペンシル)・消しゴム・鉛筆削り(電動式を除く)・時計(計時機能だけのもの)・保健師コースの専門問題時の英語辞書(電子辞書除く)1冊のみです。
- ③上履き、及び外靴を入れるナイロン袋をご持参ください。
- ④漢字や英単語、和歌等がプリントされている衣服の着用や筆記用具の使用は認めません。

##### ◆試験について

- ①試験会場では受験番号の貼られたところに着席してください。
- ②試験会場では、受験票と筆記用具、時計、英語辞書(保健師コースの専門問題時)は、机の上に置いてください。携帯電話、電子機器類は電源を切って試験監督者の指示に従ってください。
- ③試験会場ではすべて試験監督者の指示に従ってください。
- ④面接終了後、適宜解散となります。

##### ◆その他

- ①試験当日は、受験生以外は試験室に入ることができません。
- ②受験票は、諸手続きに必要となりますので、大切に保管して下さい。
- ③昼食は各自でご用意ください。近隣のコンビニ等をご利用になる方は事前に下調べをお願いします。

## 6. 提出書類

以下の書類を揃え、本学まで郵送または持参してください（締切日18時必着）。

出願書類は本学所定の入学願書と封筒を用い、必要書類を入れて「簡易書留郵便」で下記の出願先まで郵送してください。

出願先／〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-21

京都看護大学大学院入試課

	書類など	備考
※ 1	入学願書・受験票・副票	大学院募集要項に付随しているものを使用してください。 必要事項を記入してください。
	写真 2 枚	出願前 3 ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽のもの (縦 4 cm×横 3 cm)、入学願書及び副票に各 1 枚を貼付してください。
※ 1	履歴書	入学願書裏面の所定用紙に必要事項を漏れなく記入してください。
※ 1	入学検定料振替振込受付証明書 (副票裏に貼付)	入学検定料35,000円を振込後、副票裏面に貼付し提出してください。 振込手数料は出願者負担となります。
※ 1	受験票送付用封筒	郵便番号、住所、氏名等を記入の上、簡易書留料を含む 404円（第 2 期一般入試は434円） <sup>*4</sup> 切手を貼付してください。
※ 1	可否通知用封筒	郵便番号、住所、氏名等を記入の上、簡易書留料を含む 404円（第 2 期一般入試は434円） <sup>*4</sup> 切手を貼付してください。
	志望理由書	〈書式自由〉 A 4 版（タテ長） 1 枚でまとめてください。
	研究計画書	〈書式自由〉 A 4 版（タテ長・ヨコ書き） 5 枚程度（表紙不要）まとめてください。 ● 上下左右 2 cm を余白とし、左上をホッチキスで閉じてください。 ● 研究計画書 書式見本をホームページに掲載しますので参考にしてください。
※ 2	成績証明書	出願資格に該当する学長が発行したものを提出してください。 【注】各授業科目および単位数（専修学校は授業時間数）が明記されたものであり、卒業見込み者は、履修中の科目が明記されたもの。
※ 2	卒業（見込み）証明書	出願資格に該当する学長が発行したものを提出してください。 【注】出身学校長が 3 ヶ月以内に作成し厳封したもの。
※ 3	個別出願資格認定証	②の出願資格（P.16参照）で受験される方は、個別出願資格認定証を提出してください。
※ 2	看護師免許証のコピー（社会人の方）	

※ 1 本学所定の様式……学生募集要項付随しているもの。

※ 2 出願資格①の受験者のみ。

※ 3 出願資格②の受験者のみ。

※ 4 2023年10月1日(日)より 郵便物 の特殊取扱料改訂によるもの。



## 7. 出願時の注意事項

- ①出願に不備がある場合、受理できません。
- ②出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても許可を取り消します。
- ③受験票は、出願受付後、本人宛に送付します。入学試験日の2日前までに受験票が届かない場合は、事務局入試課まで連絡してください。
- ④一旦提出された提出書類は、理由の如何に問わず、一切返却いたしません。
- ⑤事前相談
  - 1) 身体に障害があり、受験上（及び学習上）特別な配慮を必要とする方は、出願に先立ち、事前相談を行ってください。
  - 2) 出願前に指導を希望する教員とE-mail等で連絡を取り、研究計画が実行可能であるか事前にご相談ください。
- ⑥その他出願に関するお問い合わせ  
出願に等に関して不明な点があるときは、下記にお問い合わせください。

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1-21 京都看護大学大学院 入試課  
TEL：075-311-0123 FAX：075-311-2002 月～金曜日（土、日、祝日を除く）9：00～18：00

## 8. 合格者の発表・入学手続き

	第1期 一般入試	第2期 一般入試
合格発表	2023年8月9日(水)	2024年2月8日(木)
一次手続き	2023年8月18日(金)	2024年2月16日(金)
二次手続き	2023年9月15日(金)	2024年3月1日(金)

※合格発表は、左記期日に受験者全員へ合否通知を送付します。なお電話でのお問い合わせにはお答えできません。

※入学手続きの詳細及び必要な書類は、合否通知とともに送付します。

## 9. 学納金

	入学金	授業料
1年次	200,000円	500,000円
2年次	—	500,000円

種別	1年次			2年次
	前期	後期	合計	
入学金	200,000円	—	200,000円	—
授業料	250,000円	250,000円	500,000円	500,000円
合計	450,000円	250,000円	700,000円	500,000円

※入学時には学費以外に別途保険代、学生活動支援費などがかります。

※保健師コースは別途実習経費200,000円（1年次前期100,000円、2年次前期100,000円）が必要です。

## 10. 初年度納入金の納入期日

	第1期 一般入試	第2期 一般入試
一次手続き（入学金）	2023年8月18日(金)	2024年2月16日(金)
二次手続き（前期納入金）	2023年9月15日(金)	2024年3月1日(金)
後期納入金	2024年9月30日(月)	



## 11. 奨学金について

### 1. 日本学生支援機構奨学金制度

優れた学生で、一定の基準を満たし、経済的理由により修学が困難であると認められた方に貸与されます。貸与には、第一種（無利子）と第二種（有利子）、入学時特別増額があります。詳細については、日本学生支援機構のホームページをご確認ください。

### 2. 京都府看護師等修学資金

修了後1年を経過する日までに、病院その他規則で定める施設における看護師の業務に従事しようとする意思を有すると認められる方に貸与されます。

詳細については、京都府のホームページ「京都府看護師等修学資金貸与制度について」をご確認ください。

2023年3月現在

## 12. 受験上の注意

### 1. 入学辞退

入学手続後、諸事情により入学を辞退する場合は、できるだけ速やかに入学辞退届を請求し、入学辞退理由、受験者・保証人の署名捺印の上、提出してください。入学金20万円を除く学費・諸費納入金返還は3月31日までにご請求ください。

### 2. 入学許可の取り消し

出願書類に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても許可を取り消します。

### 3. 入学検定料について

入学検定料は、いかなる場合も返還いたしません。

### 4. 情報開示

本学では、受験者本人（不合格者）の申請に限り、簡易開示ができます。

開示請求：請求があった場合、その場で閲覧又は口頭により開示

対 象：受験者本人（不合格者のみ）

開示内容：総得点ならびに科目毎の得点を開示

開示期間：2024年5月7日(火)～5月10日(金) 9:00～17:00

開示場所：入試課窓口（京都市中京区壬生東高田町1-21）

必要書類：本学受験票と本人であることが証明できる書類。

請求時には、本学所定の申請書類の記入が必要

※受付期間以外の開示請求には応じられませんのでご注意ください。

### 5. その他

本学より緊急の連絡事項がある場合は、本学ホームページ（<https://www.kyotokango.ac.jp/>）へ掲載しますので、**受験前に必ず**確認するようにしてください。

（緊急〈例〉）自然災害、気象状況など。

#### 【プライバシーポリシー】

- 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報、入学案内・入学試験・入学手続関係・入試方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要な範囲で利用します。
- 前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。
- 出願・受験の過程で得た個人情報を、第三者に提供することはありません。

## 13. 大学院進学ガイダンス・個別ガイダンス

	大学院進学ガイダンス	個別ガイダンス（予約制）
日程	●2023年6月3日(土) 10:00~11:30 ●2023年12月2日(土) 10:00~11:30	●月~土（日・祝日、大学行事日除く）
会場	京都看護大学 京都市中京区壬生東高田町1-21	
プログラム	●大学院の概要説明 ●入学試験説明 ●奨学金説明 ●学内見学 ●個別相談 etc ※個別相談においては、看護の智探究領域・地域生活支援探究領域・地域生活支援探究領域保健師コースの具体的な相談、研究テーマの相談、受験資格の相談、開講科目の履修方法に関する相談など、志願前の事前相談ができません。	●大学院の概要説明 ●希望領域の説明 ●入学試験説明 ●奨学金の説明 etc ご希望に応じた個別見学を開催。
申込方法	ホームページよりお申込ください。	電話または、メールでお申込ください。 ※日程により、対応できない場合がございます。 お申込の際に、日程・プログラムをご相談ください。

## 14. 科目等履修生・研究生について

### 【科目等履修生】

京都看護大学大学院では、特定の授業科目の履修を希望する者がいるときは、大学院の教育に支障がない限り、大学院委員会での選考の上、科目等履修生として在籍を許可することがあります。

科目等履修生が受講した授業科目について試験を受け、これに合格した場合は、所定の単位が与えられます。

### 【研究生】

京都看護大学大学院において、特定の課題について研究することを志望する者がいるときは、大学院の教育研究に支障がない限り、大学院委員会での選考の上、研究生として在籍を許可することがあります。

### 【よくある質問】

Q1. 科目等履修生として大学院の授業科目の単位を取得。その後、入学試験に合格し、入学した場合、取得した単位の読み替え認定はされますか？

A1. 認定されます。科目等履修生の後、大学院への進学を検討される方もいます。

Q2. 希望すれば、科目等履修生・研究生の許可がでますか？

A2. 上記に記載の通り、「大学院の教育に支障がない限り、大学院委員会での選考の上」で在籍許可の有無がでます。希望者全員が許可されるわけではありません。

Q3. 研究生から大学院に進学された方はいますか？

A3. はい、います。研究生として入学され、さらなる研究を希望し、入学試験に合格、大学院に入学されました。

※科目等履修生・研究生制度の詳細については、ホームページをご確認いただくか、本大学院入試課（075-311-0123）までお問い合わせください。

事前相談	有 ・ 無
担当教員	

受付	※本学にて記入
----	---------

受験番号	※本学にて記入
------	---------

京都看護大学  
大学院 入学願書  
2024年度 入学試験

※太枠の中を記入、または該当する項目に☑をつけて下さい。

志望領域	<input type="checkbox"/> 看護の智探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 保健師コース		写真貼付 上半身正面脱帽 3ヶ月以内のもの 縦4cm×横3cm	
フリガナ				
氏名				
生年月日	(西暦) 年 月 日生	性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
フリガナ				
現住所	〒 -			
連絡先	T E L : ( ) -			
	携帯TEL : ( ) -			
	E - m a i l : @			
出願資格 該当する出願資格区分①②(学生募集要項 P.16参照)にチェックを入れ、必要事項を記入してください	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	大学		科 卒業 卒業見込み
	<input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私立	短期大学 専門学校		科 卒業
	<input type="checkbox"/> 個別出願資格認定			
看護師免許	西暦 年 月 取得・取得見込み			
フリガナ				
氏名	本人との続柄 ( )			
フリガナ	※志願者と連絡が異なる場合			
現住所	〒 - TEL ( ) -			

※裏面をご確認下さい。

■志願者履歴

志願者履歴	(西暦)	学歴
	年 月	高等学校 卒業 中等教育学校
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
		職歴
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	(西暦)	資格
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
年 月		
年 月		
年 月		

入学願書 記入上の注意

入学願書等の記入にあたっては、以下の通りに記入してください。

- 黒ボールペンを用い、楷書で丁寧に記入してください。
- 訂正する場合は、二重線で抹消して訂正印を押してください。
- 「志願者」欄は、出願上の照会、合否通知書送付、緊急連絡等の際に必要ですので、提出後変更等があった場合は直ちに申し出てください。
- 職歴欄は、家事手伝いや無職期間も含め、空白のないように記入して下さい。
- 学歴及び職歴記入欄が不足する場合は、それぞれ適宜用紙を付け足して記入して下さい。

京都看護大学  
大学院

# 受験票

2024年度 入学試験

受験番号	※本学にて記入
フリガナ	
氏名	

志望領域	<input type="checkbox"/> 看護の智探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 保健師コース
------	--

京都看護大学大学院  
入試課

受付印
-----

京都看護大学  
大学院

# 副票

2024年度 入学試験

受験番号	※本学にて記入	写真貼付 上半身正面脱帽 3ヶ月以内のもの 縦4cm×横3cm
フリガナ		
氏名		

志望領域	<input type="checkbox"/> 看護の智探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 <input type="checkbox"/> 地域生活支援探究領域 保健師コース
------	--

京都看護大学大学院  
入試課

受付印
-----

## 試験に関する注意事項

1. 受験票は必ず携行してください。
2. 試験開始後 20 分を経過している場合は、受験できません。
3. 本票は合格発表時まで紛失しないように保管しておいてください。
4. 本学入試要項「P.17」を再確認してください。

## 京都看護大学大学院 入試課

【当日の連絡先】

京都看護大学大学院 入試課

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町 1-21

TEL. 075-311-0123

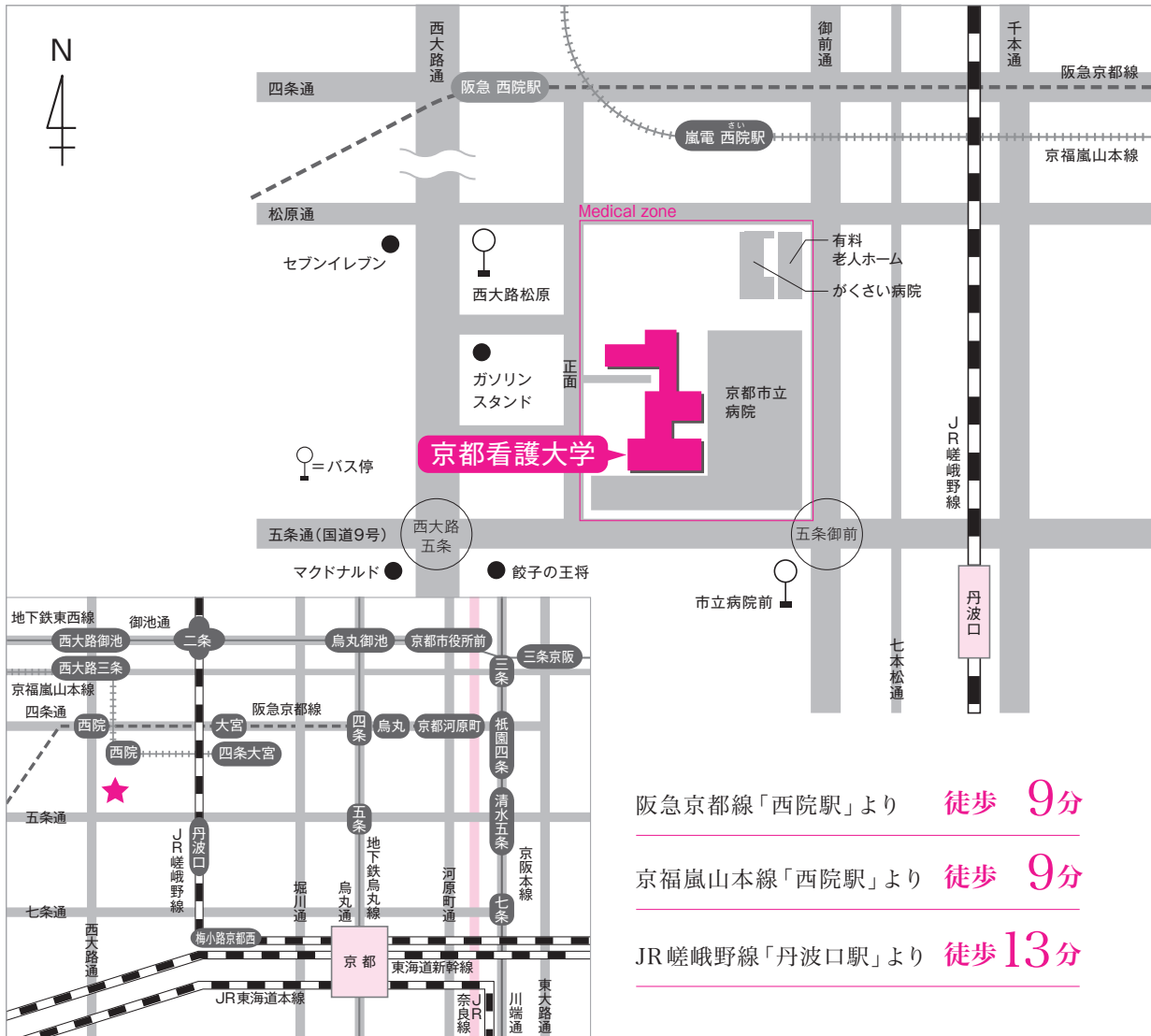
「振替払込受付証明書」  
貼付欄

【振替払込受付証明書貼付】

のりつけ

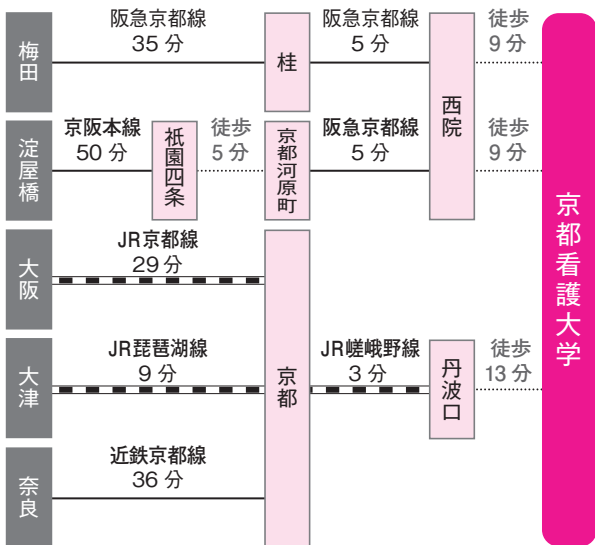


# Access

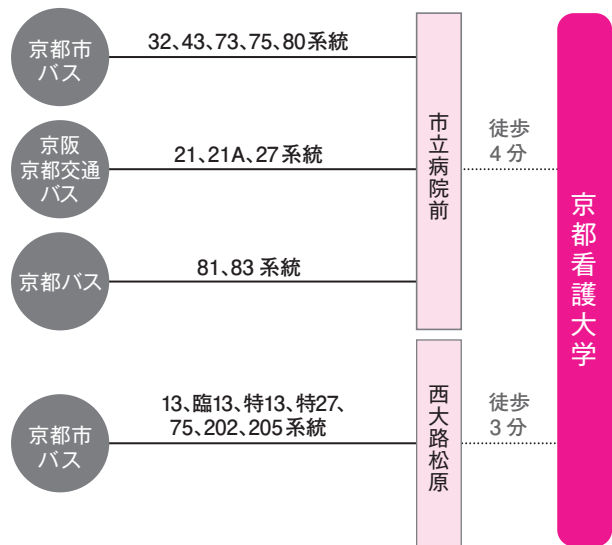


- 阪急京都線「西院駅」より 徒歩 9分
- 京福嵐山本線「西院駅」より 徒歩 9分
- JR嵯峨野線「丹波口駅」より 徒歩 13分

## 電車



## バス



2023年3月現在



学校法人 京都育英館

# 京都看護大学大学院入試課

〒604-8845

京都市中京区壬生東高田町1-21

TEL (075)311-0123

FAX (075)311-2002

メール:nyushi@kyotokango.ac.jp